

AAF C例会資料

空芯MCカートリッジの改造品で聞くヨーゼフ・ハイドン

空芯型MCカートリッジ「SONY XL-MC1」を改造し、弱点であったケーシングの剛性を強化し音質改善にチャレンジした。

改造方法は、交換針ユニット(発電機構部)を削り出し加工したドライカーボンブロックに埋め込んで一体化した。音質改善効果としては、低域の解像度が向上したと感じられた。

シェルは、スネークウッド(南米ギアナ産)の削り出し、重量調整用スペーサーは、ドライカーボンと銅版の積層品、スタビライザーは、縞黒檀(インドネシア産)とドライカーボンの複合型を自作。

カートリッジの概要

型式 MC型カートリッジ

出力電圧0.2mV(1kHz、5cm/s、45°)

周波数特性 10Hz~45kHz

チャンネルセパレーション 30dB以上(1kHz)

チャンネルバランス 1.0dB以内(1kHz)

直流抵抗40Ω

コンプライアンス 20x10-6cm/dyne

針圧 1.2~1.8g(推奨値 1.5g)

針先形状0.3x0.8mil 楕円ダイヤモンド針

※MC-XL1 (1982年製)

サマリウムコバルトのリングマグネット、空芯8の字コイル採用



オリジナルのMC-XL1



改造後のMC-XL1







ドライカーボン製ボディ



スネークウッド製シェル

◆本日の演奏曲・・・Joseph Haydn 協奏曲アラカルト

- ①  チェロ協奏曲 第2番 二長調 Hob. VIIb : 2
チェロ：ピエール・フルニエ
ルツェルン祝祭管弦楽団
指揮：ルドルフ・バウムガルトナー
MGW5187
- ②  協奏交響曲 変ロ長調 Hob. I 105
(オーボエ、ファゴット、ヴァイオリン、チェロと管弦楽のための)
コレギウム・アウレウム合奏団
コンサートマスター：フランツヨゼフ・マイヤー
ULS-3176-H
- ③  チェンバロ協奏曲 二長調 Hob. XVIII-11
チェンバロ：ロベール・ヴィイロン＝ラククロワ
トゥールーズ室内管弦楽団
指揮：ルイ・オーリアコンブ
EAC-80200
- ④  ギター協奏曲 二長調 Hob. III : 8 (原曲は、弦楽四重奏曲 ホ長調)
オーストリアのギタリスト、カール・シャイトによる編曲
ギター：ヴラディミール・ミクルカ
ヤナーチェク室内管弦楽団 指揮：イジー・ピンカス
BM30SL1415